



あんないっしょ、いっしょ、いっしょ

5/ 写真 5

15 紫電改搭乗者の英霊に鎮魂の思いを

南レク馬瀬山公園の紫電改展示館で、町遺族会（和泉三千代会長）が主催する「平成 25 年度愛南町遺族会紫電改慰霊祭」が厳かに行われ、遺族会の役員 12 名が参加しました。

和泉会長は、「戦後日本が平和で豊かな生活を送れるようになったのも、ご英霊の方々の犠牲の上にあることは決して忘れてはなりません。そのことを後世に語り継ぎ、あのような悲惨な戦争を二度と起こさないように努力することは私たちに課せられた使命だと心しています」と追悼の言葉を述べ、その後一人一人が献花を行い、紫電改に向かって静かに手を合わせました。また、猪野眞喜子さん、和田鈴美さん（ともに福浦）による「御霊を鎮める踊り」もあり、参加者は、紫電改の搭乗者のみならず戦争で命を落としたすべての方に慰霊の気持ちを捧げました。



サンゴの穴がマイホーム

5/ 写真 4

10 早乙女姿でお田植え祭り

柏地区の金峯神社近くの神田で、25 回目となる「お田植え祭り」が行われ、かすり姿の可愛らしい早乙女 12 名（柏小学校 4～6 年生）が、豊作を祈りながら田植えを行いました。

この日は朝から雨模様でしたが、神社での神事を終えた早乙女たちが田んぼに入ると一時的に雨が上がり、男子児童 9 名の手も借りて 350㎡あまりの田んぼにもち米の苗を植えました。もち米は 9 月上旬に収穫され、柏地区の敬老会や秋祭りで使われる予定です。

LOWN TOWN

本日! 海日和!! vol.131 「雨の日曜日」

梅雨になると荒れ模様の天気が増える。足止めをくった日は、窓から顔を出して、海に降る雨をぼんやりとながめる。そんな私とカンザシヤドカリが妙にだぶってしまった。

カンザシヤドカリはサンゴに開いた穴の中に生息している。そこから顔を出し、鳥の羽のような触角を振り回して、小さなプランクトンを捕まえて食べている。危険を感じると素早く穴の奥に隠れる。固いサンゴは、この上なく安全な隠れ家である。

しかし、ここで疑問が残る。一生を同じ穴の中で過ごすのだろうか。雄と雌はいったいどこで、どのように出会っているのだろうか。危険を冒して巣穴から出るのは、やっぱり雄なのだろうか。

海に出ることのできない休みの日は、海の不思議について考えるのはうってつけの日なのかもしれない。

(写真:カンザシヤドカリ 撮影場所:瀬の浜)
愛南サンゴを守る会 西尾知照



4/ **写真1**
**27 ふるさとの山
 篠山を守ろう**

総合的な学習の時間に篠山の自然を守る活動について学習している篠山小学校の5、6年生9名が、篠山の美しい自然を守ろうと、篠山山頂付近で登山者に手作りのリーフレットを手渡して自然保護を呼び掛けました。リーフレットには篠山の自然保護活動のほか、ミヤコザサが生い茂っていた当時のことにも触れ、篠山の美しい自然を取り戻すための児童の思いが記されていました。「篠山の美しい自然を守る活動に協力してください」と児童からリーフレットを受け取った登山者は笑顔で応え、アケボノツツジやミヤコザサが多く残っていた10数年前のことを思い起こしながらリーフレットに目をやっていました。

5/ **写真2**
**4 家族で釣りを
 楽しもう**

西海地域の船越漁港周辺で、町観光協会(山下常臣会長)主催の「第4回 愛南ファミリー釣り大会」が行われ、県内外の23家族77名が参加しました。

当日は、絶好の釣り日和に恵まれたものの、水温が低かったせいか「入れ食い」とはなりませんでしたが、親子で協力して魚を釣りあげるなど、家族の絆を深める一日となったようです。大会は釣り上げた3匹の魚の合計重量で競われ、エソ3匹を釣り上げた宇和島市の洞ノ上正美さん家族が2年連続の優勝を飾りました。

5/ **写真3**
**19 南楽荘でボラン
 ティアマッサージ**

社会福祉に貢献しようと昭和49年に始まり、今年で40回目を迎えた「南宇和鍼灸マッサージ師協会南楽荘交流会」が養護老人ホーム南楽荘で行われました。交流会には同協会(安蔭博会長、会員7名)から6名が参加し、南楽荘の入所者と世間話を楽しみながら、ボランティアでマッサージを施しました。

【参加された方々(敬称略、順不同)】

安蔭博、長谷榮、長谷京子、西田功、丸永栄一、水野和子